



日本共産党品川区議会議員

週刊

みやざき克俊

事務所 品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674

2009年7月26日 No.671

日本共産党品川区議団ホームページ <http://www.jcp-shinagawa.com/>



「教育改革」の検証

父母・住民
参加で!

改革責任者が「選択制反対論」にも「真実」



若月教育長らが品川区の教育改革をテーマに書籍を相次いで出版した。

「検証 教育改革」、「学校大改革 品川の挑戦」、「品川区の教育 改革 何がどう変わったか」…など、若月教育長らが相次いで教育改革について本を出版しました。多くの住民は選択制など強引な教育改革に批判的ですが、どう検証しているのでしょうか。

私(みやざき)は、品川区教育政策研究会の「検証 教育改革」に注目しました。この本は、品川の教育改革を客観的に検証するために、区教委の職員も参加した自主組織をつくり文科省の新教育システムの検証データを使って出版したと区教委の説明です。執筆陣には教育改革推進委員会の委員長経験者や区教委の現役課長も名を連ねています。つまり、教育改革を推進してきた側の検証です。

ところが、この「検証」では教育改革の成果らしいものではなく問題点ばかりです。当ニュースでは、教育長らが自らの教育改革をどう検証しているか、学校選択制と小中一貫教育の2つの角度から検証します。

選択制で混乱

教育改革責任者が 手をこまねいている

選択制で学校現場は大混乱。町会役員さんは「地域と子どもたちの関係を壊す」と批判しています。ところが、「検証…」では、教育改革責任者が「選択制は、反対論にも賛成論にも真実がある」と、まるで他人事です。

「検証…」の本では「教育改革プラン21」推進委員会の責任者として教育改革をすすめた大学教授が選択制の評価を書いています。教授は「学校の序列化を招く、学校に競争主義を導入するもの、学校―地域の協働関係を壊す、等々の様々な事態が生じた。それはある面で未だ続いている」と選択制が学校の現場に大混乱を生じさせたことを認めています。

ところがその一方で、「公立学校の抜本的变化を生み出した、等の点は、大きな功績として拍

手喝さいも聞かれる」と反省はありません。

「選択制を統廃合の手段にしない」 の教育長の説明が問われている

さらに、この「検証…」が学校統廃合計画に一言も触れていないことも問題です。

昨年11月、若月教育長が設置した審議会が、荏原西地区と荏原東地区でそれぞれ小学校の、大井地区では中学校の統廃合を迫る内容の答申をしています。

そして、「学校選択制を一方的に指弾するだけで問題が解決するようには思えないし、反面で、これまでの学校選択制のメリットだけを強調することで活路が開かれるようにも思えない」として、「問題を根本的に考え直す」と結んでいます。ここには、改革をゴリ押した責任者が、自ら作り出した混乱に手をこまねいている姿が浮き彫りになっているのです。

若月教育長がこれまで繰り返してきた「選択制を統廃合の手段にしない」という説明が問われているのです。しかも、「検証…」の本の中でも第1章の論点を整理して選択制と統廃合の問題を挙げているのに、です。

「検証…」は、2年前に定員制

を導入し選択を制限したことも触れていません。

日本共産党は、教育改革を教師や父母、住民も参加した検証を提案しています。あわせて、教育環境の改善へ30人学級の早期実施を求めています。

※小中一貫教育は次週です。

お困りのときは
お気軽に ご相談ください

無料 法律相談は 7月24日(金)
8月14日(金)



弁護士が対応

日本共産党 みやざき克俊 事務所
品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674

都営住宅

入居者募集
8月3日(月)から
※希望者は申請を